

水郷水都全国会議 滋賀大会 開催概要

1. 開催趣旨

滋賀県では、流域で洪水を受け止めて下流へ流すという「流域治水」による治水政策が進められてきています。それは、ダムや堤防によって閉じこめて流すという旧来の治水政策から一歩も二歩も踏みだし、本当に有効な治水方法を考えるという挑戦であると捉えています。

その流れの中、2008年に行われた流域治水検討委員会住民会議からは「水害は必ず起るという覚悟を持って・水害から命を守る地域づくり」という言葉を冠した提言が提出されました。また、2009年からは「淡海の川づくりフォーラム」が開催され、滋賀県また淀川水系各地で活動されている「いい川・いい川づくり」の取組が続々と報告されています。

この滋賀の、否定ありき・反対ありきではなく、地域とともに創り出す新しい治水の取組を全国へ発信し、また全国から川に関する取組の現状を聞くため、「水郷水都全国会議 滋賀大会」を開催します。

2. 開催日時 平成22年10月9日(土) 午後 現地見学会(夕方より懇親会実施)

平成22年10月10日(日) 本会議開催 9:30(開場9:10)～17:00

3. 会場 栗東芸術文化会館さくら 中ホール

4. テーマ 水辺と人の関係づくり—流域治水と地域防災

5. 主催等

主催:水郷水都全国会議 滋賀大会実行委員会・水郷水都全国会議
(実行委員長 遊磨 正秀(龍谷大学教授))

後援:滋賀県

6. 定員 10月10日本会議 400名

*対象:市町村担当者、研究者、市民団体、一般市民等

7. プログラム(案)

	時間	内容
10/9 午後	13:30～	現地見学 参加費：1,000円が必要 ●A：日野川流域（野洲駅出発～日野川流域～栗東駅着を予定） 日野川とのつきあい方、洪水へ対処する知恵や経験について地元の方の生の声を聞き知る、感じる。上流（東近江市葛巻町）・中流（竜王町弓削）・下流（近江八幡市水荃）での現地見学を計画。改修の取組みや地域内の活動について伺う ●B：琵琶湖博物館（草津駅出発～博物館～栗東駅着を予定） 生活展示、水利用について「水環境カルテ」や「ホテルダス調査」のデータ蓄積から滋賀県内の水にまつわる取組みを学ぶ。また、琵琶湖博物館のコンセプト等についても見所である。
	17:30～	懇親会 ●栗東文化芸術会館さくら内 サロン・ド・アプリにて開催
	19:30～	(全国実行委員会 会議)
10/10 午前	9:10～	本会議開場 参加費：2,000円が必要

	時 間	内 容
	9:30～	開会挨拶 ●水郷水都全国会議滋賀大会実行委員会実行委員長 遊磨 正秀（龍谷大学教授）
	9:50～	特別出演 山内エコクラブ ●滋賀県甲賀市土山町の山内学区の子どもたちによる、地域と水の関わりについての講演。
	10:30～	基調講演 嘉田由紀子（滋賀県知事） ダムだけに頼らない治水政策とは？ —時代を先取りする滋賀県の実践から— ●ダムだけに頼らない治水政策について、滋賀県の「流域治水」の視点と取組みについての解説、そして、県が今後目指す「治水」や水害から住民を守る方法、河川政策へのアプローチについて。
	間 20 分程度	「流域治水」について所管の担当者より制度説明を挟む
	11:20～	基調講演つづき
	12:00～	昼食休憩
午後	13:00～	事例報告（報告 1～8）各 10 分程度 ●滋賀県内の川や防災に関する取組、また全国の川に関する活動の状況などについて活動報告を実施。 ●事例報告者 <県内から> ・水郷の里の取組：針江生水の郷実行委員会 ・琵琶湖沿岸：びわ湖の水と環境を守る会 ・検討中の団体 （子どもたちの学び：安曇小学校「リバーウォッチング」） <全国から> ・藤田景子様：徳島県吉野川から 「活動は次世代へー吉野川住民運動の地で今行われていることー」 ・佐藤悦子様（城原川を考える会 代表） 「ダムに拠らない治水探る佐賀平野 城原川からの報告」 ・矢間秀次郎様（千曲川・信濃川復権の会共同代表） 「水基本法制定で河川維新の夜明けがくるか」 ・萩原富司様（土浦の自然を守る会/霞ヶ浦市民協会） 「利根川制覇をねらうオオタナゴ」 ・山口様（所属団体名称確認中） 「小豆島内海ダムの報告（仮）」
	15:00～	休憩
	15:10～	パネルディスカッション これからの治水—水辺と人の関係づくりを通して ●ダムだけではない治水の選択肢「流域治水」の実施について、行政の役割や住民の役割、地域のあり方などを含めた川とのつきあい方について、これからの治水や川づくりを議論します。

	時 間	内 容
		●パネリスト ・石津 文雄氏（たかしま有機農法研究会 針江のんきいふぁーむ） ・中井 正子氏（おおつ環境フォーラム運営委員） ・姫野 雅義氏（吉野川の歴史とうまいものを探る会世話人） ・大熊 孝氏（水郷水都全国会議共同代表・新潟大学名誉教授） コーディネーター ・遊磨 正秀氏（龍谷大学教授）
	16:10～	フロアトーク
	16:40～	滋賀大会宣言の採択 閉会あいさつ
	17:00～	閉会

8. 申し込み・問い合わせ先

水郷水都全国会議 滋賀大会実行委員会
 事務局 北井香(所属:子ども流域文化研究所)
 Email:suigousuito2010@gmail.com(担当:北井)
 FAX:075-708-8062
 携帯:090-4114-3239

9. その他

水郷水都全国会議 大会記録を下記に掲載する。

水郷水都全国会議の活動(2009年11月9日更新)

水郷水都全国会議開催一覧

回	開催地	開催日	大会テーマ
1	松江市	1985年5月19,19日	水と暮らしー人と湖との共存を求めてー
2	土浦市	1986年9月6,7日	水文化の再生をめざしてーアオコ河童からの提言ー
3	富士市	1987年10月3,4日	水と人間の共生について
4	中村市	1988年6月11,12日	水環境と地域の再生
5	柳川市	1989年5月27,28日	水循環の回復と地域の活性化ー柳川掘割から水を考えるー
6	小山市	1990年8月25,26日	水と森林
7	高槻市	1991年8月24,25日	水と共に生きる都市
8	新潟市	1992年8月1,2日	水ー流れが交わり、文化が生まれるー
臨時	桑名市	1993年6月19,20日	長良川ーいま、河口堰の在り方を問うー
9	八王子市	1993年8月28,29日	序章・自由水権運動 ー水はめぐり、時がめぐり、人がめぐりあうー
10	釧路市	1994年9月10,11日	水環境のワイズユース
11	横浜市	1995年7月28-30日	都市河川新時代
12	徳島市	1996年8月2-4日	川と日本
13	米子市	1997年10月18,19日	水と人との共生
14	気仙沼市	1998年11月7,8日	森は海の恋人
15	宮古島	1999年10月15-17日	水はめぐるー天、地、海、生命ー
16	隅田川	2000年11月10-12日	創ろう活かそう！私たちの川とまち
17	高野山	2001年10月26-28日	流れる水は生きている！ ー21世紀の公共事業のあり方を問う！ー
18	大町市	2002年11月16,17日	川は川らしく、湖は湖らしくー市民の権利と役割ー
19	鶴岡市	2003年9月20,21日	おいしい水を守るには？
20	浜松市	2004年11月27,28日	未来へ残そう、美しい水環境
21	久留米市	2005年6月10-12日	公共事業”新”時代～自然とのおりあいを求めて～
22	大阪市	2006年9月17-18日	水とともに生きる都市～15年目の検証
23	松江市	2007年5月26-27日	あらためて、人と湖の共存を求めて
24	東京都	2008年6月13-14日	水郷水都運動の新しい段階を作ろう
25	桑名市	2009年10月17-18日	ー水と人と公共事業ーその教訓をどう生かすー